

The efficacy of medium-to long-term anti-TNF- α antibody-based maintenance therapy in Behçet's disease patients with intestinal lesions

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-06-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 神林, 玄隆 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032795

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 3099 号	氏 名	神 林 玄 隆
審 査 委 員 会	主 査 教 授	石 黒 直 子	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>ベーチェット病 (BD) の腸管病変に対する抗 TNF-α 抗体製剤による中期的な治療成績の報告はあるが、長期的な報告はない。</p> <p>本研究では、観察期間が平均 257.2\pm132.1 週と長期間における BD の腸管病変における抗 TNF-α 製剤の維持治療継続率と PSL の使用量の推移などを評価している。その結果、17 例中、寛解導入後に 3 例が中止、1 例が二次無効と判断され、 Kaplan-Meier 法にて評価した累積継続率は 2 年で 94%、4 年で 87%、6 年で 72%であった。寛解維持療法群 13 例のうち 69%が PSL を離脱し、31%が減量し、抗 TNF-α 抗体製剤開始前後の平均 PSL 使用量は導入前の 13.42\pm2.16mg/日から観察終了時の 0.92\pm2.47mg/日と有意な減少を認めた。BD の腸管病変に対する抗 TNF-α 抗体製剤の維持治療は長期的にも有効であることを示す研究であり、臨床的に意義のある研究と考える。</p>			
<p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			